

# 更に本格的に学びたい方へ



従来の木造彫刻、日本画・古文書に加え、2015年度より洋画と近現代文書の保存修復授業を設置しました。また日本の美術史(絵画史・工芸史)に関する専門講義を開設しました。これらは博物館学芸員の資格を得るために必要な科目ではありませんが、より実用的な技術・知識を身に付ける科目として、すでに当講座を修了された方や、博物館学芸員として実際に活躍されている方にも受講いただけるよう、内容を充実させています。なお博物館学芸員の資格をお持ちでない方、今までに当講座を受講されたことのない方もお申込みいただけます。

## ◆ 選択科目一覧 ◆

実習形式	講義形式
<p>●文化財保存修復(木造彫刻)</p> <p>仏教美術を中心とした木造彫刻の保存修復を行います。また日本の仏像の技法・材料史、保存修復の歴史などの解説を行いながら、調書の取り方、記録写真の撮影、保存処置の方法等の習得を目指します。</p>	<p>●文化財専門講義(日本絵画史)</p> <p>中世から近世の日本絵画史の流れ(主に世俗画)について学びます。各時代の名品への親しみを深めると同時に、それらを調査・研究するための基礎知識や作品の持つ情報の把握方法の習得を目指します。</p>
<p>●文化財保存修復(日本画・古文書)</p> <p>文化財修復という立場から、日本画の資料、作品の材料、表装の構成、技法等を考察し、実習を通じて学芸員として必要な経験を積み重ねます。</p>	<p>●文化財専門講義(日本工芸史)</p> <p>日本の伝統工芸の中でも特に独自の発展を遂げた「漆工」「刀剣・甲冑」「金工」の歴史について、それぞれの専門家がオムニバス形式の授業を展開します。理解を深めるためにそれらの技法や構造、保管や展示方法などにも幅広く触れます。</p>
<p>●文化財保存修復(洋画)</p> <p>油彩画の損傷状態を調査する方法と修復について学びます。また絵画の歴史、主に技法・材料の歴史から、作品がどのようにして現代まで残されてきたのかを考察します。</p>	<p>●資料保存修復(近現代文書)</p> <p>文書修復の基本を学びます。近現代文書の構造、文書・紙の劣化などに関する基本知識の講義、さらには紙資料の保存処理、修復技術(記録・解体・裏打ち・復元)、保管・収納の技術などを総合的に扱います。</p>

※各科目の内容は変更となる場合があります。実際の出願にあたっては入学試験要項を必ず確認してください。

# 早稲田大学 會津八一記念博物館 AIZU MUSEUM, WASEDA UNIVERSITY



會津八一記念博物館は東京都選定歴史的建造物で、学内で2番目に古い建物です。常設展示や企画展示を通じて、會津八一のコレクションをはじめ、建学以来収蔵してきた様々な資料を公開しています。

## —— 展覧会のご案内 ——

### ◆企画展示室

會津八一記念博物館  
創立20周年記念・藪野健が選ぶ  
AIZU MUSEUM名品展 (仮称)  
会期: 5月9日(水)～6月16日(土)

會津八一記念博物館  
創立20周年記念・藪野健展  
—記憶の扉を開けて— (仮称)  
会期: 6月28日(木)～8月5日(日)

穴澤コレクション  
東洋考古学の世界(仮称)  
会期: 10月11日(木)～11月17日(土)

日比義也コレクション受贈記念  
描かれた盆石(仮称)  
会期: 11月27日(火)～2019年1月19日(土)

### ◆富岡重憲コレクション展示室

花と鳥(仮称)  
会期: 3月1日(木)～4月23日(月)

近代の日本画(仮称)  
会期: 5月10日(木)～6月16日(土)

壺さまざま(仮称)  
会期: 6月29日(金)～9月14日(金)

市島春城印章コレクション(仮称)  
会期: 前期10月8日(月)～11月17日(土)

市島春城印章コレクション(仮称)  
会期: 後期12月5日(水)～2019年1月31日(木)

山水(仮称)  
会期: 2019年3月1日(金)～4月20日(土)

◆社会連携企画  
中国の陶磁器と文物—早稲田大学  
會津八一記念博物館開館20周年にゆずって(仮称)  
会期: 2019年1月26日(土)～3月31日(日)  
於: 横浜ユーラシア文化館

## —— ご利用案内 ——

当館は入館無料です。開館時間は10:00～17:00(入館は16:30まで)、企画展示室は、會津八一記念博物館主催展示の会期中のみ金曜は18:00まで開室(入室は17:30まで)です。

休館日は日曜・祝日および大学が定めた休日です(詳細は当館ウェブサイトをご覧ください)。

早稲田大学會津八一記念博物館

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1(早稲田キャンパス2号館)

☎03-5286-3835/FAX 03-5286-1812

☒aizu@list.waseda.jp

www.waseda.jp/aizu/culture/aizu-museum/

# 2018年度 早稲田大学 文学部

— 学芸員資格課程 夏季集中講座 —

## めざせ 学芸員



## —— 受講生募集 ——

2018年度をもって当講座は終了します

早稲田大学文学部 学芸員夏季講座事務局

お問い合わせはメールまたはお電話にてお気軽にどうぞ

☎03-3202-2408(月～金 9:00～17:00)

E-mail curators@list.waseda.jp

Facebook fb.com/mezasegakugeiin/

flas.waseda.jp/curator/



## 当講座の特徴

# 本物を使って行う 実習クラス



当講座の大きな特色は、「**本物の美術品**」**を使って行う実習授業**にあります。そして、実習授業の仕上げに行う展示実習は、「早稲田大学會津八一記念博物館(博物館相当施設)」の企画展示室で行います。まさに會津八一の“実学論”を実践する講座です。

## オープンカレッジとは違う緊張感

当講座は、早稲田大学文学部が社会人を対象に開講します。公開講座とはちがいが本格的なカリキュラムを組んでいる正規の授業科目です。**単位修得には、大学の正規授業と同様、レポートや試験の合格が必要**。教室は真剣まなざしと熱気に包まれています。

## ひと夏で資格に必要な単位を修得

当講座は、学芸員資格に必要な「博物館に関する科目」19単位を開講していますので、**資格を取るために必要な単位をひと夏で修得**できます。

## 文化人になる

学芸員は超難関な職業のひとつ。資格を手にしたからと言って必ずしも学芸員になれるとは限りませんが、当講座は**文化財を大切にすることを学ぶ社会教育、もしくは生涯学習の場**でもあります。受講理由は人それぞれ。受講生の声や授業風景はウェブサイト・フェイスブックでもご紹介しています。



## 受講資格について

高等学校を卒業した方であればどなたでも受講が可能です。  
※博物館学芸員となる資格を取得するには、原則として日本の大学の学士の学位(学部卒業)が必要です。  
※博物館実習等、一部の科目には定員を設けています。  
※選考の結果、不合格となりご希望の科目を受講できない場合もあります。

## 受講スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	出願	入学手続		オンデマンド授業		
				対面授業		
				博物館実習 2週間コース(前半)	博物館実習 3週間コース	博物館実習 2週間コース(後半)
						選択科目
出願	2018年4月16日(月)～5月7日(月)					
入学手続	2018年5月31日(木)～6月8日(金)					
必修講義科目 オンデマンド授業	2018年6月25日(月)～					
必修講義科目 対面授業	2018年7月30日(月)～9月14日(金)					
博物館実習	2週間コース 2018年8月6日(月)～8月10日(金) [後半] 2018年9月10日(月)～9月14日(金)					
	3週間コース 2018年8月20日(月)～9月7日(金)					
選択科目	2018年9月10日(月)～9月14日(金)					

※土曜、日曜、8/11～8/19に授業はおこないません。  
※入学試験要項は2018年3月中旬頃、講座ウェブサイトにて公開予定です。  
※博物館実習(2週間コース)は**前半・後半いずれの出席も必要です**。  
※選択科目は科目によって開講日、時間割が異なります。

## 博物館実習の履修条件について

- 2週間コース 以下のすべての条件を満たす方。
- 2018年度の当講座出願時点で、次の必修講義科目6科目の単位を修得済であること(修得機関は問わない)。「博物館経営論」、「博物館教育論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館情報・メディア論」、「生涯学習概論」。
  - 「博物館概論」「博物館資料論」の2科目について、当講座で単位修得済であるか、2018年度の当講座にて履修予定であること(当該2科目の単位を他大学等で修得済もしくは履修中の場合でも、当講座で改めて履修する必要があります)。
  - 2018年度の当講座開講時点で当学の大学院に正規生として在籍していないこと。
- 3週間コース
- 2018年度の当講座で、資格取得に必要なすべての必修講義科目8科目(「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館資料論」、「博物館教育論」、「博物館資料保存論」、「博物館展示論」、「博物館情報・メディア論」、「生涯学習概論」)の単位を修得済(※)であること。なお、これらの必修講義科目を他大学等で修得済(※)である場合を含むが、この場合、「博物館概論」と「博物館資料論」の両方を含む必修講義科目2科目以上の単位を当講座にて修得しなければならない。
- ※「修得済」とは次のいずれかの状態を指します。  
「単位をすでに修得済である」、「2018年度に当講座で並行履修する」、「(他大学等で履修する場合)2018年度の当講座終了日(2018年9月14日)までに単位が修得できる見込である」

## 受講費用について

- 算出方法  
**選考料 ¥25,000 + 2018年度聴講料 × 申込単位数 ¥38,000 / 単位 × 申込単位数**  
 ※前年度から継続の方は選考料を免除します。ただし初めて入学した年度の翌年度と翌々年度の2年間に限ります。  
 ※聴講料は1単位あたりの受講料をさし、履修年度により異なります。  
 ※博物館実習ならびに一部の選択科目の履修には別途実習費(3,000円～5,000円)が必要です。
- 必修科目(19単位)をひと夏で履修する場合の費用  
**選考料 ¥25,000 + 2018年度聴講料 × 申込単位数 ¥38,000 / 単位 × 19単位 + 博物館実習費 ¥5,000** (1年プラン計 ¥752,000)



## 受講相談会・説明会開催

**日時** 2018年3月31日(土) 13:30～15:00 **予約不要**  
**場所** 早稲田大学戸山キャンパス 36号館3階382教室  
 地下鉄東西線「早稲田駅」下車 徒歩4分/  
 JR高田馬場駅から早大正門行バス「馬場下町」下車 徒歩2分

## 講座の終了について

当講座は2003年度の開設以来、2017年度までの15年間で延べ2600名を超える受講生の皆様をお迎えしてまいりました。修了生の中には学芸員として博物館や美術館の最前線で活躍なさっている方も少なくありません。また資格取得に限らず、社会人の学びなおし、ひいては生涯学習機関として社会的使命の一端を担ってきたものと考えております。

しかしながら、2012年度の関連法令改正をはじめ、開設当初と比しても当講座を取り巻く状況は大きく変化してまいりました。当講座もその時々状況に合わせて変化を遂げ、受講生の皆様によりよいプログラムを提供することを第一に諸策を推し進めてまいりましたが、諸般の事情により2018年度の開講をもって終了とすることを決定いたしました。

ご不明な点やご質問等がございましたら、表紙のお問い合わせ先にご連絡ください。

当講座終了以降も**当講座で修得した単位が無効になることは一切ございません**のでご安心ください。他大学等で取得した単位を組み合わせることで、資格取得要件を満たすことも可能です。

単位修得証明書等の発行は、従来通り文学部学術院事務所に承ります。

出願後の選考にて不合格(履修不許可)となり、履修希望科目の一部もしくは全部を履修できないことがあります。また、履修希望科目が全て合格(履修許可)となった場合も、欠席超過、レポート未提出等によって単位を取得できないことがあります。これらの結果、当講座終了までに資格取得要件を満たせない場合も、当学にて特別な対応を行うことはありません。

